

元気アップ 主体会

2018. 11 Vol.45

地域包括ケア病棟を開設しました



も く じ

地域包括ケア病棟を開設しました …… 1	健康への窓 …… 5
特集 地域包括ケア病棟の 運用開始について …… 2	施設行事 …… 6~7
大腸CT検査を始めました …… 3	女子ラグビーPEARLS(パールズ) …… 7
41thサマーセミナー …… 4	部署紹介 小山田記念温泉病院 訪問リハビリテーション …… 8
看護川柳大会 …… 5	元気アップコーナー・編集後記 …… 8

平成30年7月1日から4A病棟の55床を一般病棟から地域包括ケア病棟に転換しました。地域包括ケア病棟は急性期治療を終了したのち、回復期治療を必要とする患者さんあるいは在宅で療養を行っている患者さんを受け入れて治療を行い、在宅復帰の支援を行う病棟です。これにより地域包括ケアシステムを支える役割を担います。地域包括ケアシステムは住まい、医療、介護、生活支援を一体的に提供しようとするしくみです。

地域包括ケア病棟の役割は具体的には次の通りです。

- ①急性期病院から転院して治療継続、リハビリテーションが必要な患者さんの受け入れ
- ②在宅や介護施設で療養中に入院治療が必要となり、当院で治療可能な病状の患者さんの受け入れ
- ③その他、緩和医療、レスパイト入院(介護者の都合による一時的な入院)等が必要な患者さんの受け入れ



入院日数は60日以内と決められています。在宅復帰をめざす患者さんの入院治療を行うのがこの病棟の役割ですので、在宅復帰のための十分な退院支援を行います。リハビリテーションが必要な方にはリハビリテーションを行います。在宅復帰の在宅とは自宅、特別養護老人ホーム、ケアハウス、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホームなどを指します。

今後ますます重要性が増すと思われる地域包括ケアシステムを支える役割を担った病棟として地域の方々の期待に応えられる病棟を目指します。

(小山田記念温泉病院 院長 浜口均)

2018年7月、地域包括ケア病棟55床を開設しました。病棟内のリフォーム工事も完了し、患者様には、明るく綺麗になった病棟で入院生活を送っていただいています。

自宅や在宅施設での生活に、出来るだけ安心して戻れるように、多職種で入院生活をサポートしています。また、生活リハビリ、病棟内訓練、病棟レクリエーション等を行い、生活機能の向上、生活の質の向上に努めています。

患者様に安心して入院していただけるよう、職員一同努力してまいります。

(地域包括ケア病棟 師長 浅野勢津子)
理学療法士 野田阿由美



大腸CT検査を始めました

主体会病院と小山田記念温泉病院では、CT装置の更新に伴って、新たに大腸CT検査を開始しました。大腸CT検査は、内視鏡検査（大腸カメラ）に比べて以下のような特徴があります。

1. 前処置の負担が少ない（多くの場合、下剤の量は半分以下で済みます）
2. 検査自体の苦痛が少ない（ガスによるお腹の張りは多少あります）
3. 通常の腹部CT検査としての情報もあるため、大腸以外の病気も診断できる

大腸の精密検査が内視鏡検査であることはこれまでと変わりませんが、その一つ手前の、より楽に受けていただける検査として、大腸CT検査をお勧めします。

大腸CT検査を受けていただくには、2つの方法があります。

1. 主体会病院もしくは小山田記念温泉病院の内科外来を受診する
2. かかりつけの医院を受診し、主体会病院もしくは小山田記念温泉病院での検査を予約していただく

このような方に、特にお勧めします

- 健診で便潜血陽性を指摘されたが、カメラが嫌で放置している
- なるべく楽に検査を受けたい

いずれの場合でも、画像診断の専門医が責任を持って読影し、主治医の先生を通して診断結果を伝えさせていただきます。

検査手順の概略は下に示す通りですが、具体的な詳しい内容につきましては、主体会病院画像診断部・小山田記念温泉病院放射線科までお問い合わせください。（小山田記念温泉病院 放射線科 田中 直）

大腸CT検査で発見された病気の一例



大腸CT検査の手順(概略)

① 検査前日（小山田） 検査前日～当日朝（主体会）

検査食と下剤等で、腸をキレイにします。



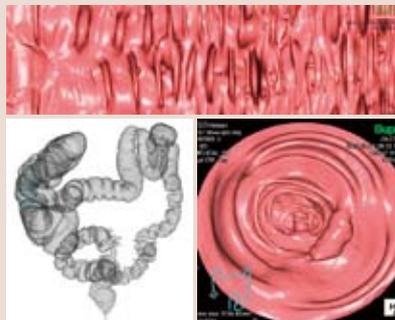
② 検査当日

おしりから炭酸ガスを入れ、腸をふくらませた状態で、CT撮影をおこないます。



③ 検査後

専用のコンピュータで大腸の画像を作り、診断をおこないます。



上：大腸展開像
左：仮想透視像
右：仮想内視鏡像

3種類の画像を用いて、大腸をくわしく観察します。

心臓(冠動脈)のCT検査も行っています

主体会病院では以前より冠動脈CT検査を行ってききましたが、今回、小山田記念温泉病院でも検査が可能となりました。狭心症疑いの患者様の検査として、お役立てください。



テーマ

両法人の直面する課題について

41th サマーセミナー

Summer Seminar

2018. 9. 8

四日市市文化会館 第1ホール



川村陽一 青山里会理事長



三瀬正幸 青山里会理事



川村直人 主体会理事長



高瀬幸次郎 院長



烏野 猛 教授

〈講演〉 「最近の肝臓病治療の進歩」

医療法人社団主体会 主体会病院
院長 高瀬 幸次郎

〈報告〉 「介護人材の現状と今後の課題」

社会福祉法人青山里会
業務執行理事・人事部長 三瀬 正幸

〈特別講演〉 「法人に求められるガバナンスと
事業所のリスクマネジメントについて」

びわこ学院大学 教育福祉学部 烏野 猛 教授



看護川柳

看護部では、「職場を活性化し楽しく仕事をしましょう」という趣旨で、主任会が主となってフィッシュ活動を行っています。過去には『スタッフボード作成』『じゃんけん大会』『看護部のイメージキャラクター(マッシュちゃん)作成』を行いました。今年度の企画は、『看護介護にまつわる川柳』を募集することになりました。ユーモアあふれる句や心温まる句など100句以上の川柳が集まりました。4病棟と外来、透析の各部署から15句を選抜し、その中から決勝投票を行い、上位3句と看護部長賞が決定しました。

選抜された15句を紹介します。

職員は川柳を見ながら、感心したり、笑ったり、共感したりと楽しい様子でした。

今後も職員が楽しめるイベントをたくさん企画し、職場に笑顔が増えるよう楽しい職場づくりを行っていききたいと思います。

- 一、ありがとう しわくちや顔に 癒される
- 二、夜勤明け 家でも鳴つてる ナースコール
- 三、コードブルー 現実見たら 心ブルー
- 四、ナースコール 歩合制なら 争奪戦
- 五、シーツ交換 家のシーツは いつ交換
- 六、病める身に いたわる思い 手を添えて
- 七、認知症 思わぬところで 力を発揮
- 八、歩けたの 柵を乗り越え すまし顔
- 九、お年寄り 見るたび思う わが未来
- 十、介護して 手にも心がある と知る
- 十一、そこにある 血管が何故 入らない
- 十二、夜勤明け 日勤ナースに ホツとする
- 十三、夜勤帯 ユーレイより 怖い 自己抜去
- 十四、認知症 家族の前では 完治する
- 十五、二度見する はみでたうんち シーツまで



決勝投票で選ばれた上位3句です



脳卒中の予防、特に血圧について

主体会病院 副院長 脳神経外科
市原 薫

敬老の日を前に総務省が発表した人口推計によると70歳以上の人が前年より100万人増え、5人に1人となったとのことです。20年後には65歳以上の高齢者は35.3%と、超高齢者社会を迎える事となり、癌、認知症、脳卒中などの年齢に伴う病気が、急速に増加すると考えられています。

脳卒中は現在死亡原因の第4位ですが、寝たきりになる最大の原因でもあります。脳卒中はどの病型(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)でも一度発症すると永続的な後遺症を残すこととなります。後遺症としては手足の動きが悪くなったり、思う言葉が出なくなったり、飲み込みが悪くなったり、排尿がわからないなど色々あります。そ

のため自分で自分の事ができなくなり、家族などに多大な負担をかけることとなります。

従って、危険因子をコントロールして予防することが大事になってきます。脳卒中の主な危険因子としては、年齢以外に高血圧、糖尿病、不整脈(心房細動)、喫煙、過度の飲酒、高コレステロール血症などがあります。

特に高血圧は脳出血・脳梗塞に共通の最大の危険因子です。合併症や年齢によって多少違いがありますが、一般的に降圧目標は140/90mmHg(家庭では135/85)以下としています。最近では家庭での血圧が重要視されていますので、ぜひご家庭で血圧の測定を行ってください。家庭での測定は、朝の場合は起きてから1時間以内で、排尿は済ませ、座って1~2分安静にしてから、食事・服薬の前に座位で測定してください。夜の場合は寝る前に測定してください。尚、測る腕は心臓と同じ高さにしてください。大切なことは、同じ状態、同じ方法で測り、測定を続け、記録することです。記録に関しては朝晩とも2~3回測定しその平均値を記録してください。

高血圧以外の危険因子のコントロールも重要ですので、是非気をつけていただきたいと思います。食事の塩分・脂肪は控えめに、体力に合った運動を続けるとともに、太過ぎには注意が必要です。

施設行事

みえ川村老健

流しそうめん **H30.8月**

皆様、上手にお箸を使ってそうめんを召し上がってみえました。



ときわ盆踊り大会

H30.7.26

毎年恒例の盆踊り大会。
ゲームや屋台などお祭りを満喫。



納涼祭 **H30.8.25**

家族と一緒に、花火などを楽しみました。



みえの郷

なかよし会 4月25日

「なかよし会」の皆さんに来所して頂きました。
三味線や踊りを見せていただきました。



お菓子作り 6月20日

ゼリーを使って季節のお菓子をつくりました。
きれいに出来ました。



たなばた会 7月4日

毎年恒例の「めぐみの園幼稚園」の皆さんと歌などを楽しみました。プレゼント交換もしています。



女子ラグビー PEARLS 広報

パールズ



今年から看護助手として勤務させて頂くことになりました
保井沙予と船橋那緒です。私達は、四日市を拠点としている
“PEARLS”という女子ラグビーチームに所属しています。

主体会病院さんに支援をしていただきながら、ラグビー中心
の生活を送っています。

PEARLSは、昨年、今年と日本一になったチームです。今年は
総合優勝に向けて7人制、15人制共に日本一を目指して日々頑
張っています。

応援がとても力になるので、病院内で見かけた際にでも、声を
かけて頂ければ嬉しく思います。



左：船橋那緒 選手 右：保井沙予 選手

部署紹介

小山田記念温泉病院 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションでは職員が患者さまのご自宅へ訪問し、実生活場面に沿ったリハビリをしています。おからだに対するリハビリだけでなく、入浴やトイレ、食事といった生活動作の練習や、趣味や家事動作など患者さま個々の生活スタイルに沿ったリハビリをおこないます。また、手すり設置などの住宅改修に関するご提案、ご家族さまへの介護のアドバイスなども私たちの役割です。



昨年度からは、市内では数少ない言語療法の訪問リハビリに力を入れています。言語療法では、会話のしにくさや食事の飲み込みにくさでお悩みの患者さまに対応します。ご家族さま

との会話や普段のお食事の様子を確認し、一緒に練習・アドバイスをします。ご家族さまや周囲の方との会話や食事を楽しむことは、より豊かに生活するうえで大切なことだと考えています。



今日も、寝起きがお辛い方から職場復帰を目指す方まで、幅広い層の患者さまが私たちと共にリハビリに励まれています。訪問リハビリ職員は、「愛する我が家で生活したい」と願われている患者さまと、それを支えるご家族さまを応援しています。（理学療法士 岡本峰生）



ウェルスポ主体会 「俊足プロジェクト」

夏休み期間中に小学生を対象にした「俊足プロジェクト」を開催しました。近年、遊ぶ場所や時間の減少により子供達の体力低下が問題となっています。運動をする機会が減る事で運動が苦手な子供達が増え、結果運動が嫌いな子供達が増えるという悪循環を生み出しています。また、小学生においては運動の得意、不得意の基準に足の速さが大きく関係しています。そこで私達は子供達の運動嫌いを少しでも減らす為にも俊足プロジェクトを企画開催し、29名の近隣の小学生に参加して頂きました。



最初はこちらが指示する動きが上手くできない姿も見受けられましたが、回が進むにつれ、できなかった事ができるようになり、自ら進んで取り組む姿勢が見られました。



最終日には足が速くなったのみならず柔軟性や姿勢が良くなった子供達も多く嬉しい結果となりました。

今回のイベントをキッカケに一人でも多くの子供達が運動の楽しさを感じ、運動を通して心身ともに成長して頂きたいと思います。

主体会病院 総合リハビリテーションセンター 福岡伸哉

編集後記



窓を開けると飛び込んでくる甘い香り、金木犀。1 cmも満たない小さな花ですが、その芳香は町中に香るほどです。表面的な自己主張はせずとも人の心を癒す、「謙虚」という花言葉がぴったりな花ですね。ふわふわと風に乗る秋の訪れを私たちに知らせてくれます。（小山田記念温泉病院 放射線科 田中）